ました。要旨は次のとおりです。平成17年度決算について、質疑をし員3人以上の会派)の代表者4人が、の月11日に、各交渉会派(所属議

身近な自治体として 市民の生活守る役割を



影響を受ける。一方、税制 議員市は三位一体改革の 日本共産党 岩田 康男 都合の良い使い方だ。

市長 平和主義や国民主権 べきだ。憲法9条を守る重 加の工夫や努力をもっとす 配慮を行った。介護保険制 市民負担は増大している。 介護保険制度の改悪などで など基本的な理念の実現に 議員 平和事業への市民参 度改正では、利用者負担軽 いては、福祉面での一定の 市長税制改正の影響につ 改正による住民税の増税や 市長所得制限の撤廃等を 議員民間委託は、公共性 議員地域特性に応じたま 都に強く要望している。 制限を就学前まで撤廃して 議員乳幼児医療費の所得 うよう徹底していきたい。 市長 人命優先、安全第一 事業については、継続した はすべきでない。委託した 副市長 該当条文は行政サ いる市がある。検討せよ。 チェック体制が必要だ。 が強く、命に関わる仕事等 いての前提を述べている。 ービス等の世代間公平につ 業務遂行や確認等を行

> の効率化を進める中で、市 財務指標を活用した行財政 重要だ。外部委託の推進や

検証していきたい。

指定管理者制度を始

と、市は行財政改革や行政

評価に取り組み、創造的な

果を中立に評価・検討し、

う取り組んできたのか。

市長 市がセーフティーネ

ットの機能を果たせるよう

されてきた。このような状

格差社会などの問題が議論

る。一方で人口減少社会や

一定の効果があったと考え

況で、市長は市政運営にど

協働の継続が適切かを常に

各種の施策を進めてきた。

議員 厳しい財政状況のも

民の問題解決力を引き出し

減制度等の拡充を図った。

対応を聞く。

…みたか縄文遺跡展(市役所2階) 教育長 教育環境全般の改 設置は検討できないか。 都に要請をしていきたい。 数学級編制を都に働きかけ 診断及び耐震改修の助成策 教育長現状では困難だ 市でも検討せよ。 議員 30人以下学級の少人 について検討をしていく。 議員 学校へのクーラーの 受け止め改善を図りたい。 して有望視されるNPOだ れるべきだ。重要な指摘と

埋蔵文化財の活用に努めてほしい

善等を研究していきたい

実情が趣旨とかけ離れ

議員 下水道債の借り換え 組みを行っていきたい。 文化財の活用に努めよ。 強の良い教材になる。埋蔵 子どもに視点を当てた取り 企画部調整担当部長 引き 教育長今後も引き続き、 などに、今後も努めよ。

さらなる行財政改革で 長期を見通した市政運営を



問題/子育て支援金の創設

は、日本経済の立て直しに

議員 構造改革路線の推進

公明党

でなく計画的に財源を投入 できる財政の安定性確保が 目前の課題解決のためだけ 財政運営においては 政新クラブ

用し市民とともに課題解決 営に取り組んできたか。 価のあり方について聞く。 評価も求められる。行政評 観性の限界、評価の固定化 を正確に把握することが必 えを取り入れ、行政コスト を得るには、企業会計の考 議員 本市では総合行政評 政運営に今後も努めたい。 する機運を醸成していく市 市長評価は政策の実効性 市民や専門家による第三者 等の課題解決のためには、 要だ。また、自己評価の客 が、より質の高い行政評価 価システムを運用している 市長 財政指標を有効に活 市長 市長

を会派で要望した。市の回

議員 公共料金の据え置き

ちづくりが必要だ。三鷹で

は、建築年数の経過したマ

今後も取り組みたい。

3項を引用してであった。 答は、自治基本条例第24条

になる。取り組みを聞く。 ンションの保全策等が課題

市長 マンション等の耐震

要性について見解を伺う。

の国庫補助金・調整交付金 総務部長 業務の質を確保 の見直しをさらに進めよ。 **〈その他の質問〉**介護保險 しつつ、競争性の範囲拡大 続き負担軽減を図りたい。 について努力したい。 委託事業の随意契約

市長 営利に走る組織もあると聞 をどう見極めていくのか。 宍戸 治重 事業者としての適格性 事業のプロセスや成 幹事長

ある進ちょくのために使わ 高めるような協働の市政運 路への交通量の増大や大気 順位を決定し地域の理解を 念される。整備路線の優先 汚染、騒音などの影響が懸 業においては、行政と事業 に環境整備やまちづくりへ 得つつ整備事業を進めよ。 道路整備事業により生活道 通りの整備事業や外郭環状 困難な場合は助言を行う。 者の自主的な判断で解決が ていくことが重要だ。事業 を持ち役割と責任を果たし る。今後どう改善するのか。 確になっていない面があ 者の責任の所在や分担が明 め市民活動団体との協働事 市は常に当事者意識 都市基盤整備と同時 調布保谷線、天文台

込まれる事件が全国で多発

の取り組みが進められた。 改善と、市民サービス向上 金の見直しなど行政効率の 市長人件費の削減、補助 して何が改善されたのか。 している。具体的な効果と 目治体経営に努めてきたと

議員 子どもが犯罪に巻き

りを進める中で、児童・生

した。安全安心のまちづく

徒への安全教育の充実が重

雨水管の増強、道路

理により力を入れる必要が

議員遺跡展示は社会の勉

市長 戸籍部門におけるI ある。今後の対応策を示せ。 SMS(情報セキュリティ の保持を図っていく。 マネジメントシステム)の

時代の変化に 即応した市政運営を

久保田 輝男 幹事

民主市民連合

髙谷 真一朗

幹事長

果が生まれてきた。今後と

くりを積極的に進めよ。 のあり方が問われている。 を高めていく必要がある。 至った。今後の課題を伺う。 事業内容について保護者等 学童保育所事業と地域子ど ため、子どもの放課後対策 議員 子どもが安心して遊 取り組みを行っている。 安全安心メールの活用等の 実施、防犯ブザーの貸与、 要だ。取り組みを伺う。 都市型水害に備えた都市づ 議員各地で集中豪雨によ 教育長 教育活動の透明度 の理解と協力を得て開設に た方策を考えていきたい。 を維持しつつ、連携も含め 教育長 両者の基本的機能 いて、検討していくべきだ。 もクラブ事業のあり方につ 教育長 セーフティ教室の る被害が相次ぎ、防災対策 議員小・中一貫教育校は、 は今後の大きなテーマだ。 べる居場所づくりを進める

市長 子育て環境の充実に 議員 人口減少社会におい どに取り組んでいる。 雨水貯留浸透施設の設置な 議員 乳幼児医療費助成制 の役割も重要だと考える。 本的な少子化対策を行え。 目治体の事例を参考に、抜 が一層高まっている。他の 回けた施策を推進する。 少子化問題への危機感

議員

被保護

も適切な情報セキュリティ 認証取得もしている。今後 市長 度の対象年齢を義務教育終 和等の対応をしている。 了まで引き上げるべきだ。 〈その他の質問〉 事業仕分 総合的な視点から 所得制限の大幅な緩

動向と市財政への影響/オ

通しと市民の実感/景気の けについて/政府の経済見

リンピックの東京招致と外

環道整備

市民の生活守る施策を

豪雨は、 時の情報伝達能力の向上を ちづくりを目指して整備を 市長 議員 市長 図った。難聴地域の解消に ジタル方式に変更し、緊急 議員 進めている。工事費の助成 に一層の浸透を図りたい。 る運用が課題である。市民 の実践である②実効性のあ スそのものが、参加と協働 組みをどう認識するか。 加と協働意識の啓発につい 制度は検討課題としたい。 ると考える。所見を伺う。 などの策を講じる必要があ 診断・水害対策工事費助成 て聞く②課題と今後の取り での市民意見の反映と、参 について、①条例制定過程 議員 をもたらした。今後、水害 都市型水害に強いま 17年9月4日の集中 防災行政用無線はデ ①条例制定のプロセ 三鷹市自治基本条例

や現地の確認等、きめの細 総務部長運用状況の説明 聴地域の改善を図りたい。 かい対応により、今後も難 る。この事業に対する評価 新規事業として、生活保護 ついての取り組みを聞く。 17年度に取り組んだ 者の就労支援があ 市内に多くの被害 となる。 報の保護等である②有識者 企画部長 ①郵送の活用、 うなものか②課題と抜本的 国へ提出した要望はどのよ 年度から実施する予定の れた。課題を聞く②国が来 組みを充実していきたい。 の強化に努め、個々の生徒 行動が見られた。恒久的な 回答方法の簡略化、個人情 な見直しの方向性を聞く。 面から指摘された。①市が 施され問題点や課題が各方 議員 昨年は国勢調査が実 の居場所づくりを進める。 ランを取り入れた、子ども ューの充実と幅広い事業の 生涯学習担当部長 ①メニ 議員 ①地域子どもクラブ 対応策を講じることが必要 校で一部の生徒による問題 も継続して取り組みたい。 懇談会から、郵送回収など 対する本市の対応を伺う。 事業が、全小学校で実施さ に応じたきめの細かい取り 教育長 議員 昨年度、市内の中学 放課後子どもプラン」に (開が課題である②国のプ 多面的な支援体制 対応策を聞く。

理者制度/コミュニティバ **へその他の質問**〉 6つの最 改善の方向性が示された。 ス/サツキとメイの家など 重点プロジェクト/指定管



